

# おおがわら

議会だより



第169号

令和5年11月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



1923 - 2023

Hilome Senbonzakura

一目千本桜植樹100周年



刈ったどー!

令和5年9月10日  
(NPO法人キハト会)

令和4年度決算状況	②③
決算審査特別委員会質疑	④⑤
町政への提言	⑥
議案審議(9月会議)	⑳
全員協議会	㉑
委員会活動	㉒
町民の声	㉔

# 決算

令和4年度

# 一般会計

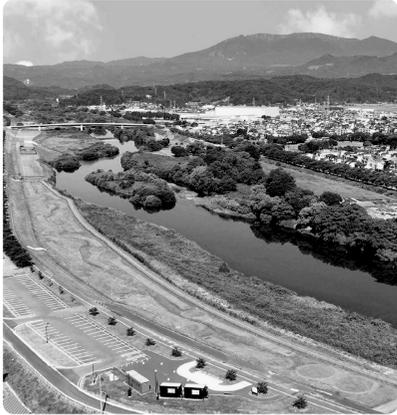
歳入 前年度比 10.2%減の  
歳出 前年度比 10.4%減の

# 114億7781万5000円

# 110億8908万円

## 財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況



パークゴルフ場オープン

(単位:%)

区分	令和4年度	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	-	14.68	20.00
連結実質赤字比率	-	19.68	30.00
実質公債費比率	1.8	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の借入金返済等に充てた大きさを指標化したもの財政負担をみるための比率
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

資金不足比率 (単位:%)

会計名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)
地方卸売市場事業特別会計	-	20.00
水道事業企業会計	-	20.00
公共下水道事業企業会計	-	20.00

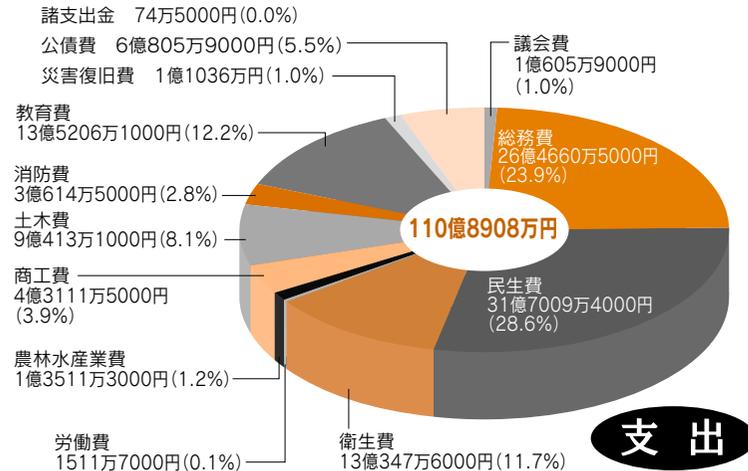
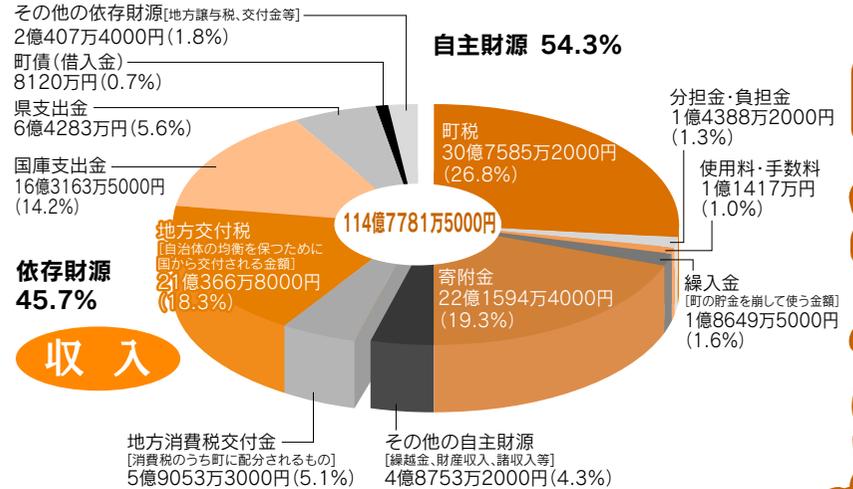
## 特別会計・企業会計決算

(単位:円)

会計名	歳入	(前年度比較)	歳出	(前年度比較)
一般会計	114億7781万5000円	▲10.2%	110億8908万円	▲10.5%
後期高齢者医療特別会計	3億813万円	6.7%	3億55万9000円	6.6%
国民健康保険特別会計	21億4988万1000円	0.9%	21億1901万円	1.5%
介護保険特別会計	14億5440万5000円	3.7%	14億2226万8000円	3.6%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	4720万3000円	15.4%	4088万1000円	7.4%
地方卸売市場事業特別会計	337万3000円	4.0%	247万4000円	11.7%
水道事業企業会計	収益的収支	6億7780万円 ▲0.1%	5億3775万8000円 ▲2.8%	
	資本的収支	3000万円 ±0	3億1171万9000円 ▲2.6%	
公共下水道事業企業会計	収益的収支	7億6763万3000円 ▲1.6%	5億7780万6000円 ▲3.9%	
	資本的収支	4億613万1000円 ▲11.5%	6億8408万9000円 ▲7.1%	

## 一般会計

令和5年第3回定例会は、9月1日から9月15日までの15日間の会期で開かれました。  
今定例会では、令和4年度各種会計決算の認定の他9件の議案を慎重に審査し、すべて認定、可決しました。  
一般質問では13議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点をいただきました。



町民一人あたり約47万円  
使われました

決算審査特別委員会とは町長が前年度の一般会計、特別会計、企業会計など、各種会計決算の認定に係る議案を議会に提出し、議会は予算が目的に沿って効果的、効率的に執行されたかなどを審査します。

# 決算審査特別委員会

一般会計  
特別会計  
企業会計

令和  
4年度

## 全員賛成で



決算審査特別委員会で行われた質疑の一部を掲載（議員番号順。決算審査特別委員会は議長（岡崎隆）、議会議長の監査委員（佐藤貴久）を除く議員で構成されます。委員長（須藤慎）は議事運営のため質疑は行いません。）

佐藤 暁史

**問** スクールカウンセラーは学校のどこかの教室に配置しているのか。相談しづらいという子どもたちの声も聞く。声に出せない子どもたちの声は拾っているのか。

**答** 大河原中の場合、保健室の隣などに配置して目立たなくしている。相談しやすいような配慮をしている。

中村 淳

**問** CADソフトを他の部署と同じものを購入したがデータの共有化はするの。工事の際に同じ場所のデータを活用すべき。

**答** データの共有はしていない。各課ごとに管理している。実際共有化できるのであれば、便利なので検討したい。

大沼 常次

**問** 令和4年度の町内小・中学校の「はじめ」「不登校」「暴力行為の発生状況は。

**答** いじめの報告件数は小学校で10件、中学校で16件であった。不登校については、小学校で23名、中学校で47名であった。また、暴力行為については小学校10件、中学校で2件発生した。大河原町は不登校数が多い傾向にあるが、昨年度より減少している。

高橋 豊

**問** 運転免許返納者に対してデマンドタクシー利用権とタクシー利用券のいずれかが交付されているか。ほほタクシー乗車券を希望されている。デマンドタクシーの稼働率を上げるのであれば、5年間の乗り放題チケット等や、体験乗車券等といった工夫が必要と考えるがどうか。



**答** 今後デマンドタクシーを利用しやすいように検討する。

佐久間 克明

**問** 遊歩道維持管理に関わる人は生き甲斐を感じていると聞いている。PRや周知のために課をまたいだ連携を図っているのか。



**答** コースは大高山から蔵王町天狗山まで約4km。オルレを本町でもどうかと声がかかっている。せっかく環境があるので可能性を考えたい。

高橋 芳男

**問** 子ども夢未来会議の提案で実現されたのは桜のイルミネーションだけだった。参加者のモチベーションにも関わらず、他の提案を取り上げる工夫はしているのか。

**答** 子どもたちが住みやすい町、誇れる町をテーマに町の担当者から説明を受け実施した。イルミネーションのように具体的に実現はできていない

丸山 勝利



**問** 障がいのある人の運転免許取得に対し、3分の2補助で上限10万円としているが、令和4年度の申請は無かった。周知と15万円では取得が難しいのでは。

**答** 周知を図り、金額的にも検討したい。

山崎 剛

**問** 農作物有害鳥獣対策で銃器によるカラス等の捕獲を実施しているが捕獲数の成果が上がっていない。有害鳥獣対策協議会で駆除効果の高い対策が必要である。

**答** カラスの捕獲には、頭を悩ませている。猟銃による予察捕獲を実施しているが、捕獲実績を上げるように対策協議会で案を練っていく。

万波 孝子

**問** 令和4年度から始まった特殊詐欺対策電話装置等を購入した人に、上限5千円の補助をするものだが、今だ知らないでいる人がいる。更なる周知徹底を図るべき。

**答** 8名に補助した領収書がないと対象にならないので、更なる周知を図りたい。

秋山 昇



**問** 障がい者雇用について各自自治体に与えられた枠の雇用は達成されているのか伺う。

**答** 令和5年6月1日時点で6人であるが、実績は5名となっており1名足りていない。

大沼 忠弘

**問** 路線バスのサイスタウン等の経費削減について具体的な対策の協議はあったか。

**答** サイスタウン等の話はなかったが、今後検討していきたい。

### 総括質疑

万波 孝子

**問** ① 賑わい交流拠点施設は、令和8年度オープン予定で整備が進められている。整備予定地（上大谷地区内）で直接町民に内容について説明することが必要でないか。  
② 町民からコールセンターでのワクチン接種予約が大変なので、隣町のように地区毎の接種方法を取り入れてほしい声があるか。

**答**

① 周知や説明責任については、引き続き丁寧な説明や情報発信を行っていく。  
② かかりつけ医での個別接種を希望する

### 委員間討議

今年度決算審査特別委員会では決算において委員同士で自由討議が行われた。内容は次の2点。  
① 所得の再配分と所得制限について  
② オイガ、NPO法人などの指定管理料について。





# 一般質問

## 音声コード

### 障がい者への普及を

### 国や県の動向を踏まえ検討



高橋 芳男



**熱中症対策の推進**  
 気候変動の影響により、熱中症死亡者が増加し、自然災害による死亡者ははるかに上回っている。熱中症による救急搬送の発生場所の7割が室内となっており、エアコンの故障等のトラブルが命に及ぶ危険性もある。冷房設備を有する施設「クーリングセンター」を整備すべき。

**町長** 暑さ指数や熱中症警戒情報の発信や、地域住民の熱中症予防行動につながる取り組みを行いながら、冷房を設置した場所を開放するなど「クーリングセンター」の確保を検討する。

**高橋** 全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会を目指し、障がい者情報アクセスIBILITY・コミュニケーション・施策推進が2022年5月に施行された。視覚障がいの手帳を持っている人の、点字が読める人はわずか1割。税金など公的な案内補助者による代読を頼らざるを得ない。この音声コ

ードの普及を進めるべきではないか。

### 水害被害家屋認定調査

な対応のため、この協定を導入するべき。

**町長** 音声コードは、本町の「障がい者日常生活用具給付事業」の中で「視覚障害者用活字文書読み上げ装置」の給付項目がある。進めたい。国や県の動向を踏まえて本町においての導入の必要性を検討する。

**高橋** 自然災害等の保険にについては、自治体と保険会社の認定方法が違っており、自治体の保険金支払いに素早く対応できない恐れがある。自治体向けサービスとして、水害時の保険調査の状況

**町長** 被災認定調査は、内閣府でも迅速な対応が必要であると捉えている。自治体の被害認定調査と損害保険会社の調査を一本化する。調査内容の違いもあるため、本町においては国の動向を見極め対応を考える。

を契約者同意の上で無償提供する協定を結んでいる。水害時の迅速な対応のため、この協定を導入するべき。

近隣市町では65歳以上の町民に助成している。本町でも65歳以上、後期高齢者と年齢制限を設け、助成するべきではないか。

町長 最終的に亡くなる事例もある。厳しい環境に置かれる方が多い。けれどもわが町のインフルエンザ接種は中学3年のみ。ほとんどの自治体が18



活字文書読み上げ装置

# ワクチン接種に助成を

## 優先順位をつけて対応



「つづらご」にはワクチン接種が有効

新型コロナウイルスの感染が拡大すると、带状疱疹（以下「つづらご」といふ）の発症率が高まるとの話がある。つづらごは免疫力が落ちると発症率が高まる。また50歳からの発症リスクが大幅に高まる。予防にはワクチン接種が有効である。本来ならばストレスのない生活、適度な運動で免疫力を高めることが一番良い。しかし8月にガソリン価格は180円を超えた。物価も軒並み高騰している。この状況下で町民のストレスが軽いと考えると健康に寄り添う施策が必要と考える。

**佐藤** つづらごワクチン接種は自己負担の任意接種だが、接種費用を助成すべき。近隣市町では65歳以上の町民に助成している。本町でも65歳以上、後期高齢者と年齢制限を設け、助成するべきではないか。

**町長** 県内では川崎町で助成を実施している。合併症、重症度、流行の状況により任意接種の助成について引き続き検討する。つづらごが治ったって痛みが続く、带状疱疹後神経痛（PHN）は50歳以上だと2割が続く。症状が長引く高齢者に助成して、接種を進めてはどうか。

**町長** 最終的に亡くなる事例もある。厳しい環境に置かれる方が多い。けれどもわが町のインフルエンザ接種は中学3年のみ。ほとんどの自治体が18

**町長** 検討を要すると考える。インフルエンザも相当怖い状況にあるので、危機意識を持っている。実現できる方向で優先順位をつけ対応する。

# 带状疱疹



佐藤 暁史



# 一般質問

## 交通環境



大沼 忠弘



### 点字ブロック拡大は

### 今のところ考えていない

**大沼** 現在の点字ブロック設置状況は、エリア拡大の考えは。

**町長** 駅前広場を含む周辺及び小島地区の歩道となっている。それぞれ公共施設等の配置に伴い設置したものの、今のところ、設置を検討するような施設計画等はないので、考えていない。今後の施設整備計画や道路の新設・改良の機会を捉えて検討。

**大沼** 小中学生以外へも町民全般に自転車用ヘルメットの購入助成は。

**町長** 町民の皆様から、拡大に向けた協議を進めている。

**大沼** JRと大河原駅みどりの窓口再開の協議は出来ないか。

**町長** JRの説明によると、利用者の生活スタイルが変化したことや、ウイズコロナ・ポストコロナ社会

における非接触ニーズへの対応としてネットやスマートフォンによる切符購入の利便性をさらに向上することに、経営の効率化を進めるとしているようである。以上のことからJRの経営方針であり、難しいと認識。

**町長** ことも1110番の家 子どもの家登録件数普及活動状況は。

**大沼** これまでに110番の家に逃げ込むような事例はあったか。  
**教育長** 幸いこれまでに報告は受けていない。  
**大沼** 児童生徒への周知は。  
**教育長** 各小中学校で、防犯教室のなかで紹介、指導を行っている。



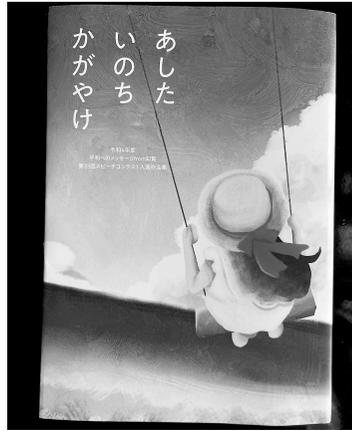
この先の命綱は

いる。  
**食のブランド化**  
**大沼** 食のブランド化に予算が計上されている、本年度はどのような展開をするのか。  
**町長** 米年度桜まつり用のお花見弁当チラシ等の作成と食の職人手ほどき講座を実施。梅やゆずなどを活用したメニューを考察いただくことを予定。講座の内容や実施状況の発信にも努め、食の

**大沼** 食のブランド化の推進を図る。  
**町長** 食のブランド化戦略方針は。  
**大沼** 第6次長総の基に、本方針に基づき、にぎわいプラザを活用し、「食」をテーマとした、新商品、新メニュー等の開発やイベント等を推進し、地場産業や観光の活性化とまちなかのにぎわい創出につながる「ブランド化」を目指す。

# 平和教育で命の大切さを

## 社会科の授業ではない



平和教育でこそ命の大切さを教えるべきでは

昭和61年3月20日に大河原町「非核・平和の町」宣言をしている。宣言の中に、わがまちの将来を背負う子供たちの未来が、永遠に戦争のない平和な社会であるように、「大河原町「非核・平和の町」

を宣言します。」とあることから以下かがやけ。  
**丸山** 平和教育について、戦後78年も経っている。当時の文化も違うし経験した方の生の声を聴く機会も少なくなっている。約

20年前、さくら青年会議所で特攻隊員の母と慕われた富屋食堂の女将、鳥濱トメさんの娘さんで「ホテル帰る」の著者の赤羽玲子さんの講演をえずこホールで開催したが、赤羽玲子さんも2005年に亡くなられ、直接特攻隊員にかかわった方や戦争を体験された方々の話を聞く機会がなくなっている。平和教育は戦争反対や憲法9条の論争だけではなく、自分の命、他人の命を思いやる心、そういった観点から命の大切さを教えるのも大事ではないか。

**教育長** 命の大切さを教えるのは社会科の授業ではなく道徳授業、あるいは理科授業である。社会科授業で扱うのは平和教育の重要性で、どのように平和を維持していくか、国際的にどう貢献するかを教えるのが第一義である。

**丸山** 知覧特攻平和会館の事業の中に「平和へのメッセージ」を知覧スピーチコンテストが「あしたいのちかがやけ」をテーマに開催されている。来年度より全国の中学生も応募可能になる。コンテストに応募することにより、戦争について、平和について調べたり考えたりするいい機会になる。応募してみてもどうか。

応募依頼が来れば、学校に配布して学校でどうするか判断することは可能。  
**丸山** 戦争体験者の生の声を聴く機会がなくなっている。また、体験者の方も少なくなっている。体験者の方々から聞き取りや講演で残す活動をすべき。  
**教育長** 映像に残すのは重要だが、県の教育委員会や国などが責任をもって継承していくべき。  
**丸山** 町としての考えは。  
**町長** わが町に、まだ戦争を体験された方が生存されている。お話をいただければ素晴らしい機会を作りたい。いっことも大切である。

## いのち



丸山 勝利



**教育長** 生徒が自分の責任で判断して応募していくべきこと。

# 一般質問

## 小水力発電

### 上水道施設での発電は

#### 規模が小さくて不可



中村 淳



**中村** ボウフラ対策として魚が生息している防火水槽が存在するが、消防に使う際に影響はないか。

**町長** 消防ポンプの吸管の先端にゴミ詰まり防止フィルターがあるため影響はない。老朽化している転落防止フェンスの改修計画を示している。

**町長** 消防署員、消防団員、役場の担当職員が、定期的な点検を行って、状況に応じて順次修繕をしている。

**中村** 消火栓が充実しているか。

**町長** 設置年度が古く、今後は設置箇所の現状を踏まえ、消防署、行政区長、消防団員と協議し、消火栓への切り替えを検討する。

**中村** 消火栓への移行は、どの程度の期間で実施するのか。

**総務課長** 水道管本管の敷設替えの際に、該当する箇所があれば、上下水道課と相談の上実施していく。



発電利用には、流量が足りない町の水道

3月会議で同僚議員の質問で、問題点が多々あったので、上下水道施設を活用した発電について改めて質問する。

**中村** 町が水利権を有する上水道施設で、取水口からの導水管の着水点との接続部分や送水ポンプからの送水管の配水池との接合部分がいくつ有り、流量毎時500m毎時かつ有効落差30m、又は流量毎時1000m毎時かつ有効落差45mの施設があるか伺う。

**町長** 該当部分は、それぞれ1箇所ずつ有るが、どちらも150m毎時で有効落差は40m。

**中村** 水道施設を使つた発電事業を行う考えはないか伺う。

**町長** 水道水の安全性、運営収益等の収集を行い検討したが、規模が小さく収益が見込めないことから、行う考えは無い。

**中村** 発電業者に場所貸しすることが可能か伺う。

**町長** 水道業に精通した発電業者で有れば可能。

**中村** 平成27年の環境省と厚生労働省が行つた「ポテンシャル調査」の聞き出しだが、アンケートに回答したか。

**町長** 該当するもの上下水道課長がいないため、提出しなかった。

**中村** 発電業者が場所貸しすることが可能か伺う。

**町長** 水道業に精通した発電業者で有れば可能。

**中村** 平成27年の環境省と厚生労働省が行つた「ポテンシャル調査」の聞き出しだが、アンケートに回答したか。

**町長** 該当するもの上下水道課長がいないため、提出しなかった。

**中村** 防火水槽の管理状況は示して欲しい。事故防止、地域安全衛生の観点からも定期的な清掃を行うべき。

**町長** 防火水槽の管理は、設置箇所を守備範囲とする消防団各班が訓練を兼ねて、3年に1回程度行う申し合わせになっているが、コロナの影響で実績が少ない状況。

**中村** 発電業者に場所貸しすることが可能か伺う。

**町長** 水道業に精通した発電業者で有れば可能。

**中村** 平成27年の環境省と厚生労働省が行つた「ポテンシャル調査」の聞き出しだが、アンケートに回答したか。

**町長** 該当するもの上下水道課長がいないため、提出しなかった。



左岸と右岸と人を繋げたい

### 貴重な意見と受け止める

## 河川敷環境の充実を

### にぎわい創出

右岸河川敷整備事業が進捗したことを評価し、スポーツを通してまちづくり等、様々な事業と抱き合せて展開することに明るい未来を感じる。一方で、コロナ禍、燃料や資材、食料が価格上昇し続け、家族の過ごし方や働き方も変化している。普段の休日は近場でのんびり過ごす。

**町長** 11グループ38名の参加と聞いた。社会環境の変動により「近場でのにぎわい創出」への需要も注目されている。事業継続と新たなにぎわいの創出を期待し、どのような後押しが出来るのか模索したい。

**佐久間** 右岸堤内側に宿泊、デイキャンプ、グランピング施設のロケーションは考

**町長** 「水と桜のリンク」リエーション軸として位置づけ、左岸の大河原公園及び白石川河川公園と右岸河川敷の環境を整備し、地域整備を確定している。この「近場」に河川敷環境が入り込めば、にぎわい創出につながることを考える。

**佐久間** 商工会青年部が7月に開催したデイキャンプ事業について所感を聴きたい。

**町長** の参加と聞いた。社会環境の変動により「近場でのにぎわい創出」への需要も注目されている。事業継続と新たなにぎわいの創出を期待し、どのような後押しが出来るのか模索したい。

**町長** リエーション軸として位置づけ、左岸の大河原公園及び白石川河川公園と右岸河川敷の環境を整備し、地域整備を確定している。この「近場」に河川敷環境が入り込めば、にぎわい創出につながることを考える。

敷、川前地区を整備し、維持管理と景観整備を目指している。整備を希望する施設として貴重な意見として受け止める。

**町民向けの発信力強化を**

**佐久間** たくさんの情報がある中で、誰も欲しい時にのみ情報を求める。町広報紙を駅構内や待ち時間のある町内医療機関等に協力いただき配置できないか。

**総務課長** 検討する。

**佐久間** 早く正確な情報を知りたい時に「dボタン」を使うテレビ回覧板導入の必要性を改めて伺う。

**政策企画課長** Eでの早く正確な情報提供を進めたい。

**佐久間** イベントの際に町ブースを設け、例えば「おさがわら干本桜スポーツパーク」

全体のイメージ図をパネルで紹介してはどうか。効果的な周知の機会ではないか。

**町長** 重要な視点で、町の取組みPRについてブースを用意するだけでなく、町の現状や将来に向けての取組みを紹介するのは必要と感じた。

**佐久間** 本町でも観光大使やPR大使を依頼してはどうか。町内出身の有名人は多数いるが、町民に身近な存在のアナウンサー等はどうか。

**町長** 有効的と認識し今後調査研究していく。

**町長** 「桜植樹100周年」が様々なメディア取り上げに繋がった。外よりも町民の皆さんに桜への思い、大切さを感じてもらおう機会になった。郷土愛やシビックプライドに繋がるヒントをいただいた。今後の流れに繋げたい。



佐久間克明



# 大河原町小・中学校の学力は

## 小学6年生が全国トップクラス



須藤 慎



全国の小学校6年生と中学3年生を対象に行われた「令和5年度の全国学力・学習状況調査」の結果が7月31日に公表された。8月1日の河北新報朝刊に「宮城県（仙台市を除く）平均正答率が全教科で全

国平均を下回った。県教委が危機感」と大きく報道された。  
**須藤 教育長** 大河原町(以下、本町)の結果は、  
※表1・表2  
本町小学6年生の国語は、県別で全国トップの秋田県・石川72%を3ポイント上

回っている。算数も県別トップの東京都・石川県の67%と同じ。国語・算数ともに全国トップクラスと言える。中学3年生の国語は、全国平均を0・2ポイント上回り、県平均を2ポイント上回った。数学は、全国平均を下回ったが県平均を2ポイント上回った。英語は、全国平均を下回ったが県平均を3ポイント上回っており、県トップグループを維持している」と捉えている。  
**須藤 教育長** 今回の結果は、  
※表1・表2  
本町の学力向上の二つの柱(一

**全国学力テスト**  
仙台市以外全教科平均以下  
県教委が危機感 記述式 正答率低く

【河北新報記事(8月1日)】  
「学力向上」を掲げる宮城県教委は、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表された。県内平均正答率は、国語が67.2%、算数が62.5%、英語が65%と、全教科で全国平均を下回った。県教委は「危機感」と大きく報道された。

大河原町(以下、本町)の結果は、  
※表1・表2  
本町小学6年生の国語は、県別で全国トップの秋田県・石川72%を3ポイント上

表1 平均正答率(%)

小学校	国語	算数
大河原町	75	67
全国	67.2	62.5
宮城県(仙台市除)	65	58

表2 平均正答率(%)

中学校	国語	数学	英語
大河原町	70	46	42
全国	69.8	51.0	45.6
宮城県(仙台市除)	68	44	39

体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と、「学習評価」を生かしたPDCAサイクル確立の取組みを先生方が着実に実践してきた成果が出ていると考えている。成果と課題を分析し今後の取組につなげていきたい。  
**須藤 教育長** 「生活・学習習慣」に関するアンケートも実施されたが、家庭学習時間はどうか。小学校6年生で一日一時間以上学習している割合が82・7%で、全国平均と比べて大きく上回っている。中学校3年生は同54・7%で全国平均

均、県平均を若干下回っている。  
**全国体力テスト**  
**須藤 教育長** 本町の体力合計点の結果は、小学生、中学生をやや下回る結果となった。  
**須藤 教育長** 学力向上と共に体力向上の取組も大変重要と考える。仙台大学との連携を中心とした取り組みを進め、体力の向上につなげていきたい。



# 一般質問



佐藤 貴久



## 改善計画書の実施状況は

### 概ね、実施されている

**佐藤** 危機管理意識・コンプライアンス意識の向上に関して、一度のみの研修の開催は、計画書に反しているのではないかと。利用者接遇の研修はコンプライアンス意識の向上とはかけ離れた内容だと判断する。理事会は機能していないのではないかと。

**副町長** NPOに関して、現在も公判中のため、裁判に影響が及ぶ可能性があり、答弁を差し控える。

**佐藤** 私の一般質問が、訴訟の争点を左右するほどの内容なのか。議論の中で、影響が及ぶと判断できなかったら、答弁を差し控えないでいい。私は事実・分析・主張を発言するだけです。

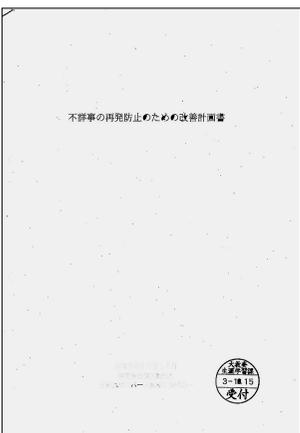
**副町長** 内部通報制度の理事長が相談窓口の役割を果たしているかと判断しているのか。何件の面談を実施したのか、その成果はどうか。朝

**町長** 監査委員には、守秘義務がある。監査委員である議員は、質問を差し控えてはい

**副町長** 不祥事の再発防止のための改善計画書は、議員全員に配布。公知の情報である。議員活動の一環である職場環境づくりの良

**佐藤** 止のための改善計画書は、議員全員に配布。公知の情報である。議員活動の一環である職場環境づくりの良

**副町長** そのような連絡網は確認していい。職場環境づくりに相反している。社会通念上も不適切なシステムではないのか。いかがか。



改善計画書の実施状況に疑問あり

い職場環境づくりに相反している。社会通念上も不適切なシステムではないのか。いかがか。  
**副町長** そのような連絡網は確認していい。  
**佐藤** 内部通報制度の理事長が相談窓口の役割を果たしているかと判断しているのか。何件の面談を実施したのか、その成果はどうか。朝

均、県平均を若干下回っている。  
**全国体力テスト**  
**須藤 教育長** 本町の体力合計点の結果は、小学生、中学生をやや下回る結果となった。  
**須藤 教育長** 学力向上と共に体力向上の取組も大変重要と考える。仙台大学との連携を中心とした取り組みを進め、体力の向上につなげていきたい。

**町長** 議事内容の詳細は町として、全ては関知しない。  
**佐藤** 客観的事実を知ると判断する。さらに、NPOに対するモニタリングの強化は機能していない。実行性かつ生産性の高いルールを構築すべき。

**副町長** そこまで踏み込めないが、町としては支援していきたい。  
**副町長** ※ここでのNPOは大河原スポーツ振興アカデミーを指します

# 一般質問

## 地域通貨

### 導入についての考えは

### 地域活性化に有効か慎重に判断



高橋 豊

ように地域の中で半永久的に循環する通貨型のもの、従来の紙の地域商品券を電子化し使用する商品券型の仕組みがある。流通管理やデータの改ざんや破壊、不正アクセスなどに対するシステムの構築が必要である。通貨型導入については商工会や金融機関が中心となり

資金が還流する地域経済の構築が重要である。また、運用については決済機器やシステム導入などの経済的負担が生じることやデジタルペイドなど、課題は多いと考える。本町にとってデジタル地域通貨導入が地域活性化に有効な手段か慎重に判断する。

新型コロナウイルスの感染症から類感染症に移行したことなどを受けて、経済活動が勢いを増してきた。しかしながら、以前の状況にはまだ戻らず、ロシアによるウクライナへの侵攻が世界的な物価上昇を引き起こし、生活への影響が続いている。コロナ禍において、この先が見通せていないこのような状況に対処するため、本町では

給付金の支給や商工会との連携によるプレミアム付き商品券などの施策を展開し、消費の刺激に努めてきた。同時に、コロナ禍の中での旅行や外出が見直され、非接触型のキャッシュレス決済が増加している。このような背景の中で、全国の自治体で広まっているのがデジタル地域通貨の導入である。このデジタル地域通貨は、まちの

活性化や魅力の再発見に貢献する可能性がある。デジタル地域通貨に対する本町の認識と考え方は、

**高橋** デジタル地域通貨に対する本町の認識と考え方は、

**町長** 地域通貨については、地域経済やコミュニティの活性化効果を期待した仕組みであり、デジタル版としてスマートフォンでの普及、コロナ禍における非接触決済の浸透を背景に全国の自治体や地域経

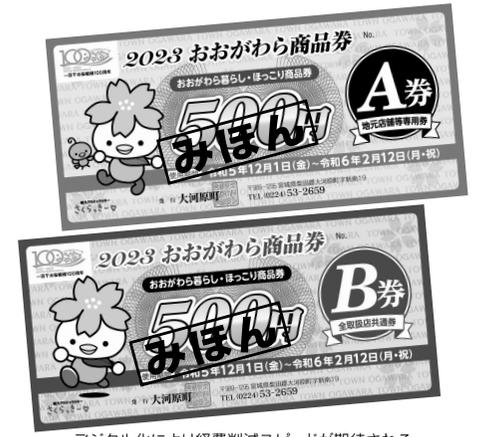
済が関心を寄せていると認識している。

**高橋** 本町で取り組む経済対策は、

**町長** 物価高騰と経済生活支援とする「おがわら商品券」発行事業を予定している。

**高橋** デジタル地域通貨導入を含めた、今後のまちづくりの展望は、

**町長** デジタル通貨には、金銭と同じ



# 「みんなの市場」設置を

## 引き続き調査研究が必要



官民連携で「みんなの市場」を

町長は令和4年3月3日会議での提言に対して、答弁は市場の立地環境は国道4号線と県道14号線の交差する県南部の交通の要衝で仙南地域の拠点と認識しており、市場敷地内の活用方法の検討に当たり施設整備の方向性を見定め共存できる施設が可能かどうか研究したいとの答弁であった。また、本年3月会議での町長答弁は、改めて市場敷地活用に当たっては地域流通の拠点としての地方卸売市場の必要性や存在意義をしっかりと受け止めつつ土地の利活用について引き

続き調査していくとの答弁だったが、何う。佐藤 卸売市場敷地の利活用に関しての調査・研究の進捗状況は、

**町長** 現在の市場の敷地は、都市計画法の規定により都市計画結滞を行っている。敷地の活用についても条例、規則において市場及び市場の使用関係者の便益となる営業等の使用のみ承認することを想定している。これらのことから、市場敷地の活用について見極めていくうえで、敷地利用に関する関連法令等の規定や市場利用者の利便性を確保した施設整備など、課題がある。

**佐藤** 「みんなの市場」設置の必要性について改めて町長の見解は、

**町長** 町内ですでに金ヶ瀬地区の商業施設が集積する地域において、農業資材や地場産物等食品の販売や食事処、休憩スペースを提供する事業者がある。既存施設の現状や町の施策なども考慮し、町全体として様々な観点から「みんなの市場」設置の必要性につきまして、引き続き調査研究が必要である。

**佐藤** 様々な関係者と話し合いをし、提言をしている。市場、そして地域の活性化のため「みんなの市場」設置を実現することは難しいのか。

**町長** 市場を取り巻く環境の変化や多くの問題が積み重なり、市場の経営は非常に厳しいものである。「市場の存続を前提に何ができるか」ということを考えていきたい。

# 官民連携



佐藤 巖

# 一般質問



大沼 常次



## 教職員の超過勤務の解消を

### 教職員の人数が増えること

#### 残業問題

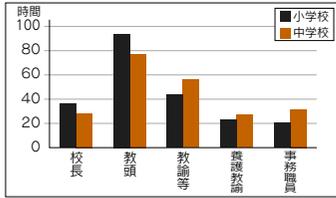
**大沼** 学校教職員の時間外勤務の実態はどうなっているか。

**教員長** 月45時間を超える教職員は小中合わせて54%、その内80時間を超える教職員は9%いた。コロナ禍が明け、学校の活動が通常に戻ってきているためだと思われる。

**大沼** 学校には授業を担っている教職員以外に様々な業務をしている職員がいる。それぞれの時間外勤務

の詳細はどうなっているか。

**教員長** 次のグラフの通りとなっている。



**大沼** 月45時間を超える時間外勤務は法律で定められたガイドラインで、これを超えないような労働管理をしなければならない。

また、月80時間以上というのは「過労死ライン」と言われている。教育委員会としても、教職員の多忙化解消のために対策は講じているが、根本的解決策は何か。

**教員長** 教職員の人数が増えること。もしくは教育課程のスリム化のどちらかだと思ふ。

**大沼** 1億円以上もかけたパークゴルフ場の芝の状態が酷い。特にラフの部分の芝の状態が悪い。酷暑と水不足等が考えられる。10月10日のプレオープンに向けて、芝の状態を向上させたい。

**白石川右岸河川敷整備事業について**

**大沼** パークゴルフ場の芝の状態が酷い。

**スボまち** 分の芝の状態が悪い。酷暑と水不足等が考えられる。10月10日のプレオープンに向けて、芝の状態を向上させたい。

**大沼** パークゴルフ場の収支計画はどのようになっているのか。

**町長** パークゴルフ場の維持管理のために、今回、1497万円が民間会社と委託契約を結んだ。当初、300万円の利用料を見込んでいたが、芝の状態から開業できず、また、10月のプレオープン以降も3月末までは使用料は頂かない

め、今年度の収入はない。事業を行うのに収支計画ができていないというのは考えられない。

**スボまち** このパークゴルフ場は公園の中にある施設、そして、町が関わっている施設ということもあり、利用料金だけで施設の運営はできない。

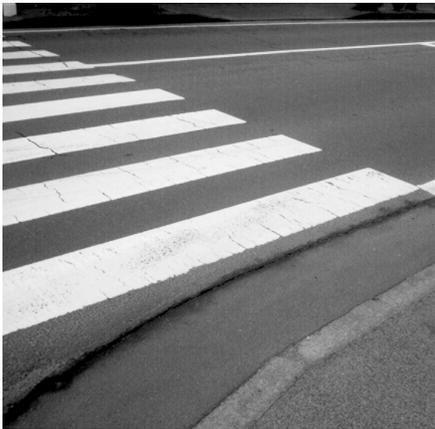
しかし、集客のためには努力していきたい。



どの学校も遅くまで電気がついている

# バリアフリー化の方針策定を

## 将来的な町の在り方を見据えていく



一歩、一歩、また一歩

**山崎** 遠野市では全ての人が住みやすい社会の実現に向け、移動等円滑化促進方針「市バリアフリーマスタートプラン」を策定した。市役所通り、JR

遠野駅がある中心市街地、周辺商業施設や福祉施設、公園等を促進地区に設定。高齢者や障がい者、子ども連れ、旅行者らに配慮したまちづくりを目指している。

る。市は当事者としてまち歩き点検を実施したところ、歩道と車道の段差や傾斜、使いづらい多目的トイレなど多くの問題点があった。方針を策定すると道路のバリアフリーに関する交付金の優遇措置がある。本町が実施した住民満足度調査結果の中で、まちづくりに関する「バリアフリー化に関すること」の数値が高くなっている。将来のまちづくりに着実に反映する方針策定が大切だと思われるので見解を伺う。

**町長** 方針策定に当たっては、地域の特性や他の計画との整合を図りながら進めることになるが、行政面が狭く、施設が点在する本町においては、現在のところ策定の必要性は高くないと考えている。指摘のとおり、住民満足度調査の質問において、バリアフリーへの関心が高いという結果が得られた。バリアフリー移動等円滑化促進方針策定の趣旨や、更新及び大規模改修が求められる老朽施設の対応を念頭に置いた。将来的な町のあり方を見据えていきたい。

**大河原小の体育着について**

**山崎** 大小の運動会の競技終了後、保護者の方から体育着について質問を受けた。内容は、男児はブルー系、女児はえんじ色の別色なので同色にならないが、パンツもハーパンツに変更できないか、同色であること、きょうだいで譲ることができるのでやり繰りが楽になる等の要望について教育長の見解を伺う。

**教員長** 学校運営協議会やPTA、納入業者等との協議により改定していくものと考えている。大小の体育着に関しても、長い間デザインが変わっていない状況にある。多様な観点等も踏まえて検討を進める必要があるのではないかと考えている。

まちづくり



山崎 剛



# 大河原町 長期総合計画後期基本計画 策定スタート

まちの将来像

## ひと・まち・桜が咲き誇る先進のまち

**全員  
協議会**

計画の柱は

# “Well-beingなまちづくり”

### 基本方針

- ① 生活環境・住民自治
- ② 子育て・健康福祉
- ③ 都市計画・街づくり
- ④ 産業・観光
- ⑤ 学校教育・生涯学習
- ⑥ 行政・組織経営

### 3つのまちづくりコンセプト

- ① 生活環境・住民自治  
住民が主役のまちづくり、まちを担うひとづくり
- ② 生命と安全を守る  
安全・安心が実感できるまちづくり
- ③ 町を未来へとつなぐ  
ブランド化による選ばれるまちづくり

策定に向けた日程	9月～10月	外部検討委員会開催
	11月	パブリックコメント
	12月	議会上程

Well-being(ウェルビーイング)とは  
心身と社会が健康で幸福な状態が  
継続すること。

後期基本計画策定(令和6～11年)



### パークゴルフ場のプレオープン

「おおがわら千本桜スポーツパークパークゴルフ場」が公道コースに認定。

10月10日よりオープンする日を限定し、予約制で対応。プレオープン期間中は利用料金、レンタルクラブも無料。

パークゴルフ場直連

02224

8716888

### おおがわら商品券発行事業

エネルギー、食料、物価価格の高騰による町民生活を支援する。地域における消費を喚起し、地域経済の振興を図る。

#### 「おおがわら暮らし・ほっこり商品券」

- 使用期間 令和5年12月1日～令和6年2月12日
- 商品券送付時期 令和5年11月上旬から
- 商品券の内容  
額面 5000円。

- 内容
- ① A券…売場面積500㎡未満の小売店舗。
  - ② B券…A券店舗と売場面積500㎡以上。
- 1人当たり500円券を10枚。

### 庁舎敷地拡張

役場庁舎北側に隣接する土地(2区画・2954㎡)を取得し、保健・子育て機能を備えた体制整備、時代に即した役場庁舎の効果的な活用と、慢性的な駐車場不足解消を図る。

### 「ベビーファースト運動」活動宣言

子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会を、行政や企業を巻き込み社会全体で実現するための運動。

大河原町は、9月に「みんなで子育て！すくすくおおがわらっこ」として活動を宣言。県は令和4年5月に宣言実施。

報告6件

議案9件

**可決**

**9月  
会議**

認定8件

全会一致で

今回の会議では役場庁舎北側土地取得に向けて、土地開発基金条例の一部改正のほか、ふるさと寄附金の増収による補正、11月に送付予定の大河原商品券発行事業等について活発な議論がなされた。

### 報告 6件

- 令和4年度決算に基づく大河原町健全化判断比率について
- 令和4年度決算に基づく大河原町地方卸売市場事業資金不足率について
- 令和4年度決算に基づく大河原町水道事業資金不足比率について
- 令和4年度決算に基づく大河原町公共下水道事業資金不足比率について
- 専決処分の報告について  
公用車の接触事故による損害賠償の額を定め和解した。
- 専決処分の報告について  
公用車への接触事故について和解した。

### 議案 9件

- 大河原町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について  
スマートフォン搭載型の署名用電子証明が新たに追加された。
- 大河原町土地開発基金条例の一部改正について  
土地開発基金条例の中で基金の上限を「1億5000万円」から「5億円」に改めた。

### 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第5号)

- ふるさと寄附金が順調により委託金を増額補正 10億円
- 役場庁舎北側土地購入の為、土地開発基金を増額 3億5000万円
- 物価高騰により生活を支援をする目的として、一人あたり5000円の商品券を発行 1億3000万円
- 一目千本桜植樹100周年記念事業補助金として県からの補助金 399万円

子ども食堂運営団体1団体追加により補助金増額 11万円

- 令和5年度大河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度大河原町地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第6号)  
新型コロナウイルスワクチン個別接種奨励金を支給 400万円



庁舎敷地の拡張予定地



子ども食堂



# 町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。

子どもから高齢者まで  
誰もがより住みやすい町へ

## プロフィール

おおぬま まり  
**大沼 舞梨さん** (本町一區)  
柴田町出身  
【家族】夫・子ども2人 (一男一女)  
4人暮らし



### 大河原町に住み 12年目

柴田町(槻木)出身  
ということもあり、当初は柴田町で住むところを探していました  
が、なかなか条件の良いところが見つかりませんでした。そこで隣町でもある大河原町も範囲に加え探したところ、良いところが見つかり、大河原町に住むようになりました。その後(7年前)に、今住んでいる場所に家を建て、現在に至ります。



### 子育て真最中

夫、璃空(りくく…大河原小学校5年生)、凛花(りんか…同1年生)、家族4人で毎日楽しく充実した生活を送っています。璃空は少年野球に、凛花はヒップホップダンスに夢中で取り組んでおり、二人の夢は、プロ野球選手、ダンスの先生。その夢に向かって頑張っていると思います。



### とても便利な町 子育てしやすい町

大河原町の便利で良い所は、

●商業施設が充実していること、公的機関(合同庁舎や警察署、免許センター等)が近くにあること、さらには病院も多くあること。

●以前、子どもの保育所入所のごことで困っている時に、役場職員の方が親身になって対応していただいたこと。

●児童センターの時間が延長になったこと。

●コロナ対策や物価高対策での商品券等。

●地域の方々の人柄の良さと温かさ。  
等々、子育て中の私たちにとっては、生活する上でとても便利な町であり、大変有難いことがたくさんあります。

### より住みやすい町へ

こんなことも感じています。

●子どもが野球をしていますが、運動できる場所(特に屋外)が限られているために、試合や練習場所の確保に苦慮していること。

●家族や友人たちと町内で気軽にバーベキューやキャンプができる場所がないこと。

●町中の生活道路が狭く、事故等の危険を感じることもあること。

●ショッピングセンターを充実して欲しい。

仙南の中心地である大河原町、これからも今以上に「子どもから高齢者、誰もがより住みやすい大河原町」になってほしいと願っています。